

4月20日（木）～4月21日（金） 歓迎登山・六甲宿泊登山

◇ 歓迎登山 4月20日（木）

8：00 鶴甲団地に集合。世話係の3年生にとってはこの2日間が最後の役割となります。



各クラスの先頭は、世話係の3年生です

○ 六甲ケーブル下駅→油こぶし→六甲カンツリーハウスのコースです。  
山岳部が先導し、1年生から登ります。（山岳部は事前にくい打ちやロープ張りをしてくれていました。）

◇ 歓迎会（六甲カンツリーハウス）11：30～

- 校長挨拶、自治会長挨拶のあと、新入生代表のB君から挨拶がありました。
- 歌唱指導  
合唱部のリードによる応援歌の歌唱指導がありました。
- 応援練習  
応援のあり方について応援団長のTさんから話があったあと、応援団からの歓迎演舞がありました。続いて全校生による応援練習をしました。



應援團による歓迎演舞の様子です

- このあと、クラスごとに食事、レクリエーションなどで過ごし、2・3年生は下山しました。
- 1年生は宿泊場所である神戸市立自然の家に向かいました。

◇ 神戸市立自然の家で宿泊

- 入所式のあと夕食、入浴をすませました。
- 講師講話  
65回生のM君と68回生のUさんが講師として、自分自身の高校時代のことや大学での様子を話してくれました。
- 歌唱指導  
校歌の歌詞解説、校歌指導のあと神高賛歌の指導がありました。



全員で肩を組んで神高賛歌を歌いました

- 世話係からの贈り物  
世話係から1年生へサリマライズの贈り物がありました。



見事なハーモニーでした

◇ 六甲山縦走 4月21日(金)

- 明け方から雨が降り、実施を危ぶみましたが、ガーデンテラスまで行って最終判断をすることとしました。



出発直後の様子です。小雨が降っていました

- ガーデンテラスに到着した段階で、天候は回復傾向にあること路面の状況等、総合的に判断して予定通り実施することとしました。



険しいところや林間など様々な経験をしました

- 一軒茶屋で昼食をとり、宝塚に向かいました。途中、大平山と甲子園大学で休憩をとりました。
- 宝塚到着  
宝塚に到着すると、クラスごとに集まり、世話係の3年生とお別れです。  
世話係の3年生に皆で書いた寄せ書きを渡すクラス、全員で歌を贈るクラス、等々、それぞれのクラスが工夫をこらして感謝の気持ちを伝えていました。  
世話係からも1年生に対して、これからの神戸高校での生活について、「一步一步着実に」「受け身でなく、自分から積極的に」などのアドバイスをしてくれました。

- 朝方の雨で山道のコンディションも心配しましたが、事故無く宝塚まで走破できました。
- 先生方には、春休み中から、計画・下見など事前の周到的準備、当日の臨機応変で的確・適切な指導、ねんごした生徒や体調を崩した生徒に対しても適切な対応をして頂きました。

1年学年団をはじめ、生徒指導部など関係の先生方、山岳部や世話係の3年生のおかげで素晴らしい六甲宿泊登山になりましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

- 1年生の感想文から（抜粋）

クラスメートの一言によって、私の気持ちが変わってしまいました。「今しんどいけど、マイナス発言はやめような。」自分は何のために山に登るのか、と考えるようになりました。登山後の今だから分かりますが、それは諦めず前向きに生きる力を養うためです。この力の先に、仲間と共に感じた喜びや感動があり、それを感じるこそが最大の目的ではないかと思います。私は、新たな力を自ら手にしたことや、山頂からの景色をずっと忘れません。

- 世話係を終えて（抜粋）

- ・ いざ世話係としての仕事が始まると、もちろん大変な事もたくさんありましたが、毎日がとても充実していて、1年生と過ごしたひと月はあっという間に過ぎてしまいました。歓迎登山2日目の解散の時、私たちに歌を歌ってくれた1年生の40人の笑顔を見ていると、涙が出そうになって、みんなから支えられていたのは私の方だったと感じました。
- ・ はじめは右も左も分からず、はたして自分が世話係でいいのか、と思うことが多々ありましたが、周りの世話係のみんなや先生方にたくさん助けていただき、なんとかやりきることができました。世話係として仕事をする中で、先のことも考えて行動することの必要性や重要性を強く感じました。また、自分が1年生の頃の世話係の先輩方のありがたさも改めて感じる事ができました。約1カ月という短い期間でしたが、関わってくださった先生方、担当クラスのみんなには感謝しかありません。ありがとうございました。

世話係の皆さん、3月の合格者説明会から1ヶ月間、本当にお疲れさまでした。これからは、自分たちのそれぞれの目標に向かって頑張ってください。